

Express Connect

購入ガイド

購入ガイド

料金体系

ExpressConnect の料金体系

ExpressConnect のコンポーネントには、ダイレクト・アクセスおよびVPCコネクションが含まれます。

詳細について料金ページをご参照ください。

仕様変更

ダイレクト・アクセス

アクセスラインのスペック変更はできません。

VPC ・ VBR 相互接続

VPC ・ VBR 相互接続のルーターインタフェースはスペックできます。

コンソールから、以下2種類の方法でスペックを変更できます。

- 設定アップグレード
- 更新して設定変更

設定アップグレード

コンソール項目の「設定アップグレード」でアップグレードした際に、サブスクリプション料金においてアップグレード分料金の差額が発生します。以下の計算方法を参考にしてください。

料金変更計算式：

アップグレード分料金 = 新スペック料金単価 × 残り時間 - 旧スペック料金単価 × 残り時間

残り時間はアップグレード時刻から終了時刻までの時間になります。単位は秒です。

下記計算例をあげます：

例：

5月1日にユーザーが東京ー上海間の 10 Mbps のルーターインタフェースを購入しました、20日間使用後に、20 Mbps のスペックにアップグレードする要望がありました。5月20日の13:00:00でアップグレードしました。

- ・旧スペックSmall.1の月額金額：295,600円
- ・新スペックSmall.2の月額金額：488,800円
- ・残り時間：(10日 × 24時間 + 11) × 3600秒 = 903,600秒

アップグレード分の料金は下記のように計算します：

アップグレード分金額 = 488,800円/30日/24時間/3600秒 × 903,600秒 - 295,600円/30日/24時間/3600秒 × 903,600秒 = 67,351.67円

- アップグレード有効時刻：直ちに有効
- アップグレード終了時間：元のサブスクリプション終了時間
- 月次サブスクリプション期間：30日
- 年次サブスクリプション期間：365日
- 価格計算では小数点2ケタ以降を四捨五入します。

更新して設定変更

コンソール項目の「更新して設定変更」でスペック変更した際に、現在のサブスクリプションの有効期間が切れた後に、新スペックの仕様が変わります。

例：5月1日にユーザーが東京ー上海間の 20 Mbps のルーターインタフェースを購入しました、来月、10 Mbps のスペックにダウングレードする要望がありました。そして、5月20日の時点で、「更新して設定変更」を行いました。選択したスペックと利用期間は「10 Mbps」と「1ヶ月」でした。

「更新して設定変更」に支払う必要の料金 = 10 Mbps の月額料金 * 利用期間

操作完了後、ルーターインタフェースの有効期間は7月1日になります。

- スペック有効時刻：現在のサブスクリプションの終了時間
- スペック終了時間：現在のサブスクリプションの終了時間 + 選択した新スペックの期間
- 月次サブスクリプション期間：30日
- 年次サブスクリプション期間：365日

支払い延滞ポリシー

支払い延滞ポリシー

ダイレクト・アクセス

- 15日間の未払い期間を過ぎると、リソースがリリースされ、回復することはできません。

VPCコネクション

接続元ルーターインターフェース

- 接続元ルーターインターフェースはサブスクリプション型（前払い型）で、期限終了後15日以降はの滞納期間になり、ルーターが通信できなくなります。支払い完了後にインスタンスの状態が回復します。

接続先ルーターインターフェース

接続元ルーターインターフェースが15日間の未払い期間を過ぎると、ルーターの開放と同時にルーターインターフェースのルートエントリが削除され、元に戻すことはできなくなります。

補足：接続先ルーターのインスタンスは課金対象外ですが、接続元ルーターで滞納が発生した場合、接続先も受信できなくなります。